

令和2年度 緑の募金

募金運動期間

春期 令和2年3月25日(水)～5月31日(日)

秋期 令和2年9月1日(火)～10月31日(土)

皆様の温かいご協力、ありがとうございました。

「緑の募金で進めよう SDGs」をスローガンとして、緑の募金運動を進めています。皆様から寄せられた募金は、地域・学校などの身近な緑化の推進、次世代を担っていくみどりの少年団の育成等に有効に活用させていただいています。

森や緑を育てて、安全で住みよい故郷をつくり、次世代へ引き継いでいくため、一人でも多くの方に「緑の募金」への温かいご協力をお願いします。

令和2年度緑の募金の結果

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため街頭募金は中止しました。学校募金、家庭募金、企業募金、職場募金、その他募金で合計2,072万円となりました。

新型コロナウイルス対策のため、募金を取りやめる自治会や企業があり、募金額は対前年比96.5%となりました。

新型コロナウイルスの早い収束を祈ります。

ご協力いただいた緑の募金は、外部有識者による「緑の募金等運営協議会」で審査等を経た上で、皆様方の地域環境の改善等に役立たせていただきました。

ご協力いただいた県民の皆様、関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

「緑の募金」の緑化活動でSDGsに貢献できます

4 質の高い教育を
みんなに



6 安全な水とトイレ
を世界中に



13 気候変動に
具体的な対策を



14 海の豊かさを
守ろう



15 陸の豊かさも
守ろう



■緑の募金交付金事業（鳥取県緑化推進委員会境港市支部の活動紹介）

渡地区では、公民館事業として、緑の募金の交付金事業を活用して、夏休み中の小学生を対象とした「寄せ植え講座」を行いました。地区からの提案で、講座の冒頭に、支部事務局より緑の募金の活動目的や歴史についての説明をさせていただきました。その結果、募金活動の意義やどのように活用されているかを学ぶいい機会になったとの声をいただいたほか、他地区からも緑の募金について説明を行って欲しいという要望が寄せられるようになりました。



中浜地区で、地域の介護施設の利用者と、小学生や地域住民との交流寄せ植え会が行われた際にも緑の募金の説明が行われました。

緑の募金の目的を知り、自分たちの募金で地域に緑があふれることを理解することで、地域の人たちが、より意欲的に緑化活動に取り組むことにつながっています。



■みどりの少年団交流集会

小学生が自然の中での学習を通じて、相互の交流と活動の活性化を図るため、みどりの少年団交流集会を毎年実施しています。

今年は10月17日（土）に船上山少年自然の家を拠点に開催し、船上小学校（琴浦町）と箕蚊屋小学校（米子市）の5年生が参加しました。

日本水産(株)及び、鳥取県内で巻き網船団等による漁業やギンザケの採卵・養殖を行っているグループ会社の協力を得て、森・川・海はつながっていること、「森を守ることが海を守ることにつながる」ことから、水産会社が森を守る活動をしている説明を受けた後、ニッスイグループ社員と一緒に同施設の近くにある「おさかなをはぐくむ湧水と海を守る森」で植栽木の周りに生い茂る雑草を刈る、下刈作業に汗を流しました。

森を守ることが、動物や人を守ることにもつながると気づいてもらえました。





鳥取県植樹祭の開催

10月31日（土）、東伯郡三朝町横手「ふるさと健康むら」を会場に、第65回鳥取県植樹祭を開催しました。
今年度は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大により春季の開催を断念、約半年延期することとし、さらに感染症対策を徹底した上で開催いたしました。

みどりの少年団や県民の方々に参加いただき、美しいもりづくり功労者及び植樹祭テーマの表彰のほか、「森林・みどりへの想い発表」、西尾県農林水産部長、松浦町長、藤縄県緑化推進委員会理事長、来賓国会議員の皆さまによる代表植樹、一般参加者による植樹や木工教室、三朝温泉謎解き宝探し等のイベントも実施し、親子連れら約400人にご来場いただきました。



■「みんなでつくるドングリの森」植樹会

次世代を担う子供たちに、森がもつ様々な役割や大切さを伝え、森づくりに参加してもらう全国巡回型の「森の教室」はファミリーマート店頭募金の寄付による「緑の募金」を活用して行っています。

この「森の教室」に参加した園児たちが育ててくれた苗木を植える植樹会を11月10日（火）に鳥取市のとっとり出合いの森で開催しました。

鳥取市内のむつみ保育園、河原あゆっこ園、わかば台保育園、鳥取第五幼稚園、豊実保育園から園児150人が参加。2年間育ててきたドングリの苗木を一人一本ずつ植えました。植え付けた苗木は10年後には実をつけ、ドングリを落とすようになります。

園児たちの森への興味が深まればと思います。



■木工工作キット配布事業

次代を担う県内の小・中学校を対象に、県産材を使用した木工工作キット及び木工作品制作用木材を提供し、木の良さを啓発することで、県産材の利用拡大に取り組んでいます。

毎年沢山の小・中学校から申し込みがあり、木の良さやぬくもり、香りを感じてもらえました。一部を紹介します。(米子市立車尾小学校・鳥取市立賀露小学校)

【児童の感想】

すぎの木はとてもいいかおりました。
自然の木がとても好きになりました。

鳥取県産の木は されるととても さささしていいな
と思いました。また におうといいにおいがしてリラックスでき
るような感じがしました。

くぎを打つところに穴 があけて あって、く
ぎもまがらず キレイに打てました。

- ・組み立てるときに友達が持ってくれたり、自分が手伝ったりしたので、協力できたと思いました。木をやすりでなめらかにするとつるつるになり、木の良いいにおいがしました。
- ・自分だけの本棚が作れてうれしかったです。上手なくぎの打ち方が学べました。とてもうれしいです。



■緑の募金贈呈式

12月14日（月）株式会社新日本海新聞社様から「緑の募金」へのご寄付があり、県議会議長室に於いて、地域プロデュース局局长 遠藤一郎様より当委員会理事長（藤縄喜和県議会議長）へ贈呈していただきました。

ご寄付いただきました「緑の募金」は、本県の緑化推進のため有効に活用させていただきます。



会員募集のお願い

公益社団法人鳥取県緑化推進委員会は、県民の皆様による「緑の募金」等を財源として、森林の整備や緑化の推進を通じて、緑豊かな住みよい県土の発展に寄与することを目的として設立された公的団体です。

本委員会の組織運営は、緑の募金及び正会員（県、市町村、団体、個人）及び賛助会員（企業）の皆様からの会費を主要な財源としており、県民の皆様のご理解・ご協力の上に成り立っています。

趣旨にご賛同いただける皆様のご加入を心よりお願い申し上げます。

会員年会費：個人・団体・企業 一口 1万円

お問い合わせ先

〒680-8570 鳥取市東町一丁目220
鳥取県農林水産部森林・林業振興局内
公益社団法人鳥取県緑化推進委員会
電話：0857-26-7416
FAX：0857-26-8192
URL：<http://www.tottori-green.or.jp>

